

檜田 充 議員

市民の会



学校

小中学校トイレの洋式化を!

議員 小中学校トイレの洋式化について長年にわたりお願いしてきたが、依然として多くの学校現場からの要望を聞く。教育委員会の考えを問う。

市 計画的に改修を進める

これまで、大規模改修の工事にあわせて整備してきたが、近年の生活様式の変化に伴い、洋式便器しか使用できない子どもが増加している。今後は、大規模改修を待たず、計画的にトイレの改修を進める。(松下学校教育部長)

他の質問 ● 次年度予算編成について

厚地 弘行 議員

新政みらい



市民病院

市民病院における新型コロナウイルス対策

議員 患者や医療従事者への予防策など市民病院で行っている対応で公表できることは何か、的確な情報提供を求める。

市 万全の対策を心がけている

7月31日までのPCR検査数561件、陽性患者入院数は20人。院内感染防止策として患者の動線を分離、医療者は個人防護具を使用し、麻酔管理手術は全て術前PCR検査を実施。外来患者で発熱症状等がある場合は発熱外来に誘導し、一般患者と交差しないように対応。どのような状況でも最善の対策をとっているの、安心して受診いただきたい。(米田医療政策監)

他の質問 ● 市役所と周辺の植栽管理について ● 太陽光パネルの開発、防止状況について ● 県道から国道への道の接続について

佐々木 智文 議員

市民の会



文化

新型コロナ、郷の音ホールの空調費の減免を

議員 郷の音ホールの利用については、新型コロナウイルス感染症予防対策そして空調設備の利用が義務付けされており、施設利用料が相対的に高額であるため文化団体等の活動を圧迫している。

市 料金体系の見直しが必要

近隣他都市のホールの多くには減免規定がある。郷の音ホールは芸術文化交流の拠点として位置づけられており、利用者拡大のためにも、空調使用料や減免に関する規定の見直しが必要と考える。今後、料金体系改定の検討の中で考えていきたい。(森市長)

他の質問 ● 三田市重度障害者等日常生活用具給付事業について ● 三田市所有の動画配信について

リスクの高い高齢者や家族へ、GPSやSOSネットワークの利用、保険活用が促進されるよう、令和3年度を目標に検討していきたい。(森市長)

他の質問 ● 2040年へ向けての地方行政のあり方について ● コロナ禍の影響が懸念される対策検討について



*認知症事故救済制度(神戸モデル):神戸市の制度。認知症と診断された方が事故を起こし賠償責任を負われた場合(ご家族が監督義務者として賠償責任を負われた場合も含む)に備え、神戸市が保険料を負担して賠償責任保険に加入できる制度。

*SOSネットワーク(三田市高齢者等SOSネットワーク):メール配信システム(さんだ防災・防犯メール)を利用して、認知症等で行方不明になった方の情報をメール受信登録者へ提供し、地域の協力を得て早期発見を目指す取り組み。

長尾 明憲 議員

日本共産党三田市議団



市民病院

市民病院統合の方向性は見直すべき

議員 コロナ禍で第一波を院内感染も出さずに乗り切った。統合後の病院で院内感染などがあった時に受け皿をどうするのか。統合せずそれぞれの生活圏・地域に病院がある、2か所あることが大切と考えるが。

市 感染症に適正に対応するにも医療機能の向上が必要

「医療機能の更なる向上」を伴う、医療機能の集約化こそが地域にとっての重要な課題である。病院としてコロナ対策、感染症対応を行うには充実した規模、機能が必要である。医療機関の数が多いだけで感染症の病床確保対策になるものではない。(米田医療政策監)

他の質問 ● 三田市として新型コロナ第1波の検証と今後の感染症対策をどう考えるのか ● 保健所機能の強化について

大西 雅子 議員

公明党



環境問題

野良猫対策、市としての役割とは

議員 「エサをやらない」だけでは解決しない野良猫の問題。避妊・去勢手術を施し、エサやり等の適正管理を行い、数を減らす地域猫対策が重要である。今後、手術費の助成制度が必要と考えるが市の見解は。

市 助成制度など、必要な予算措置の検討を進める

市が地域との窓口となり、「三田市猫の連絡協議会」と連携し、TNR活動が地域住民に理解されるよう啓発を行っていく。また地域住民が負担する不妊手術費等の費用軽減のために助成制度を設けることなどを検討する。(森市長)

他の質問 ● 多胎児家庭への支援について ● 新型コロナウイルス感染症により重症化しやすい方への配慮について



*TNR:捕獲器などで野良猫を捕獲(Trap)し、不妊・去勢手術(Neuter)を行い、元の場所に戻す(Return)こと。

國永 紀子 議員

日本共産党三田市議団



幼稚園再編

幼稚園の再編計画はもっと時間をかけて

議員 広い地域にまたがった計画、当然賛否両方の意見が出るのが想定される。中学校の再編計画でも一定の時間をかけているが、通り一遍の説明会だけで年度内に確定を目指すというのは、早すぎるのではないか。

市 必要に応じ説明を重ね、再編計画づくりを進めたい

保護者や市民の皆様への丁寧な説明や聞き取りを行い、今年度内という目標を定めた期間内で、必要に応じて説明の機会を重ね、より良い認定こども園となるよう再編計画をつくりたい。(森市長)

他の質問 ● 少人数教育への見直しの議論がある中で学校統廃合についての見解を問う ● コロナ禍でのインフルエンザ予防ワクチン接種補助について ● (仮称)三田市人と人との共生条例の問題点について

松岡 信生 議員

公明党



福祉

認知症の人に対する「認知症事故救済制度」の構築を!

議員 平成29年12月定例会の一般質問で、認知症者の事故等に対し、神戸市の「事故救済制度」のような制度が必要と言及。市長も前向きな姿勢を示され約3年経つが、次期、高齢者保健福祉計画等の見直し期間に具体的な事故救済制度を公表するべきでは。

市 令和3年度を目標に検討したい

今後高齢化が進行し、認知症者の増加による事故の増加も予測される。リスクの啓発及び、

